

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

神奈川県大和市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	32	対象	透未訓ガ	救臨が災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
244,421	27,111	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
403	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	403
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
292	-	292

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
—	類似病院平均値（平均値）	
【】	令和4年度全国平均	

## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

本院は長年にわたり、救急医療や災害医療及び小児周産期医療の中核病院として、地域の医療需要に応じてきました。平成24年には地域がん診療連携拠点病院、令和元年には地域医療支援病院の承認を受けています。コロナ対応では神奈川県モデルにおける重点医療機関としてコロナ専用病棟や小児・妊産婦の陽性患者用即応病床を整え、陽性患者の受け入れ・治療を行ってまいりました。今後も神奈川県地域医療構想県央構想区域における基幹病院のひとつとして、また地域住民のいのちを支える病院として、高度急性期・急性期医療の強化に努めるとともに、地域の医療機関等との連携を一層深めていきます。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は前年度と比べ下がったものの、新型コロナウイルス感染症への対応を評価した病床確保事業補助金等により100%を超え、類似病院平均値と同程度となっています。医療収支比率や病床利用率は前年度と比べ上昇したものの依然平均値を下回っています。また累積欠損金比率は平均値を大きく上回る状況が続いており、病院経営は大変厳しい状況です。コロナ禍による医療収益の減少等により、職員給与費対医療収益比率は令和2年度から平均値を上回るとともに、今まで平均値を下回っていた材料費対医療収益比率が今年度は平均値を上回っています。引き続き、診療報酬請求の適正化等の確認や費用削減の取組み等により収支改善に努めていきます。

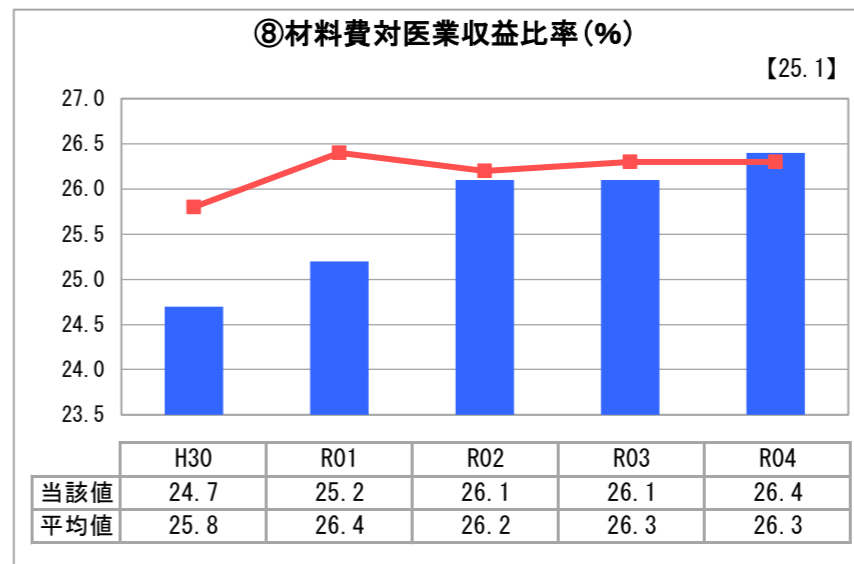
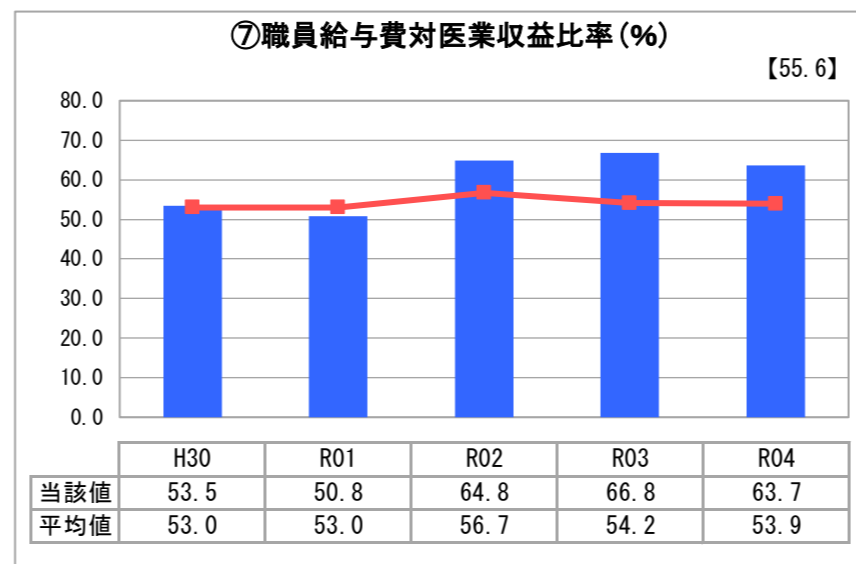
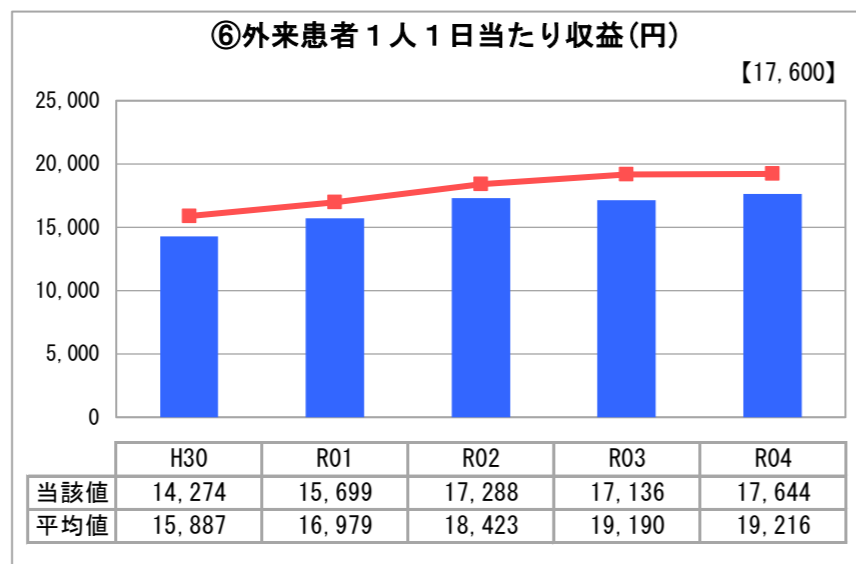
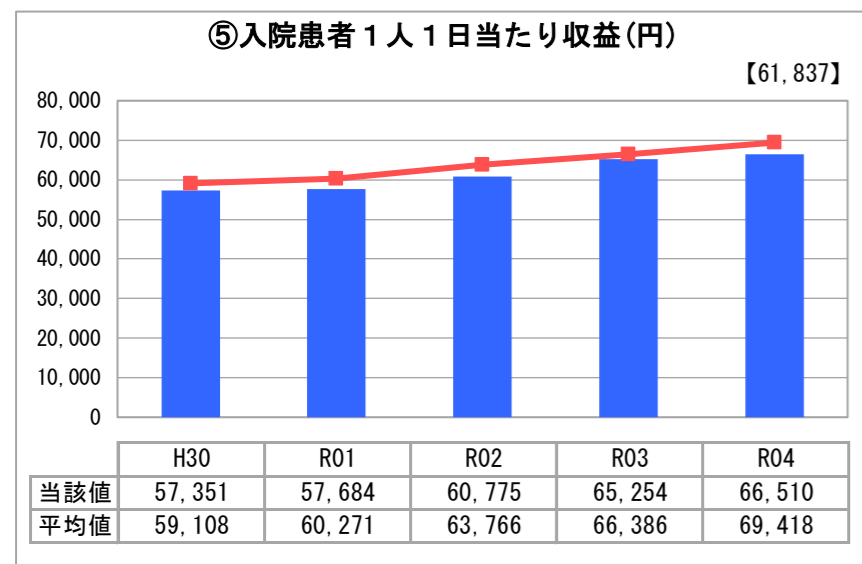
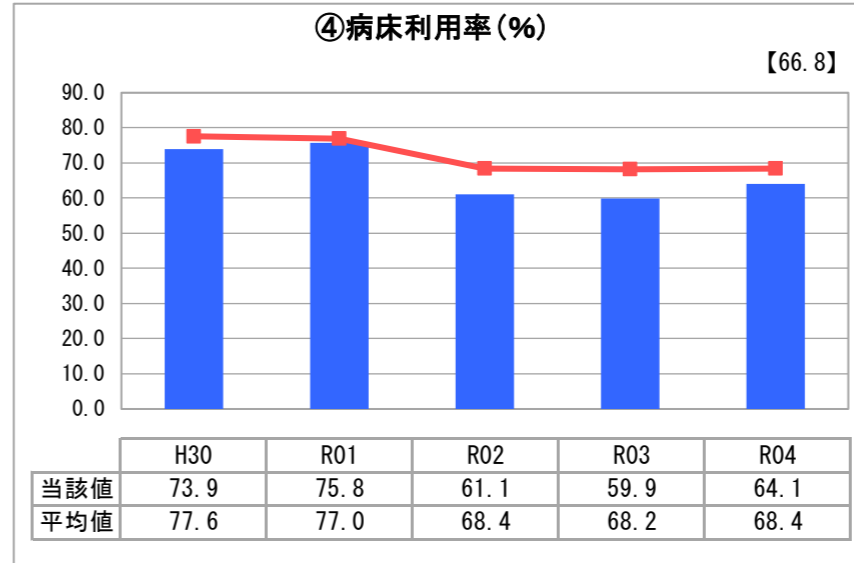
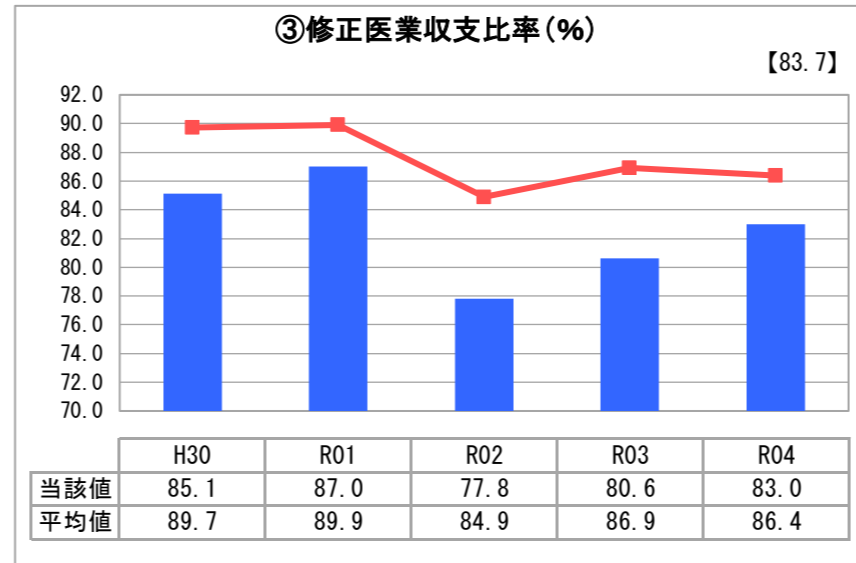
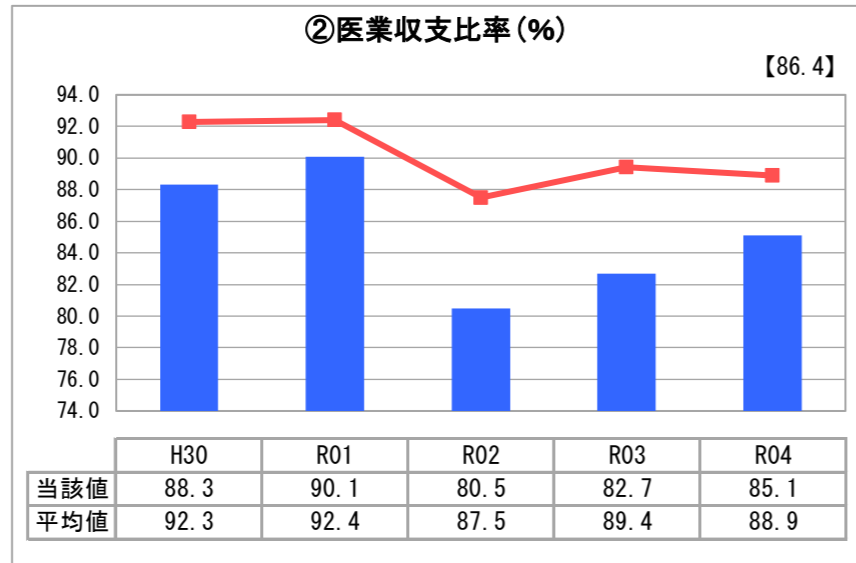
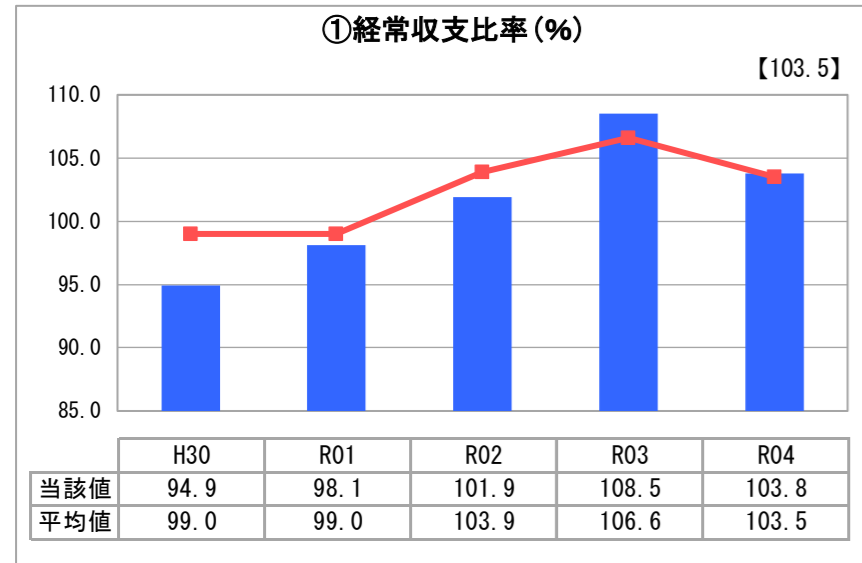
### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率及び1床当たり有形固定資産とも平均値を上回っている状況です。特に、有形固定資産減価償却率から建物全体の老朽化が進んでいることがわかります。そのため、病院の将来的な建て替えを視野に入れつつ、まずは建て替えが実現可能な財務状況になることを目指します。なお、将来的な建て替えまでの間は、施設保全計画に基づく施設改修を行い、安全性を確保しつつ施設の長寿命化を図っていきます。器械備品については、既存品管理を徹底し、経営状況を踏まえながら購入の必要性を精査した上で、計画的に更新してまいります。

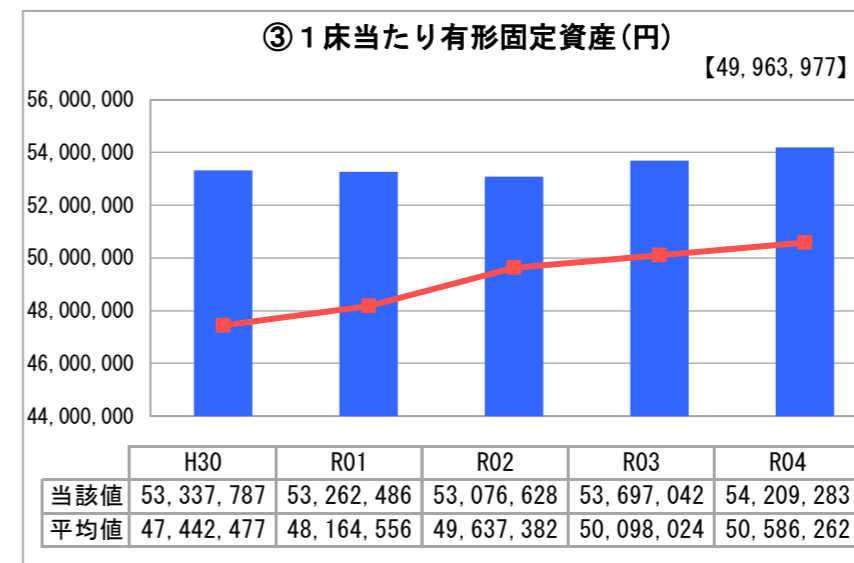
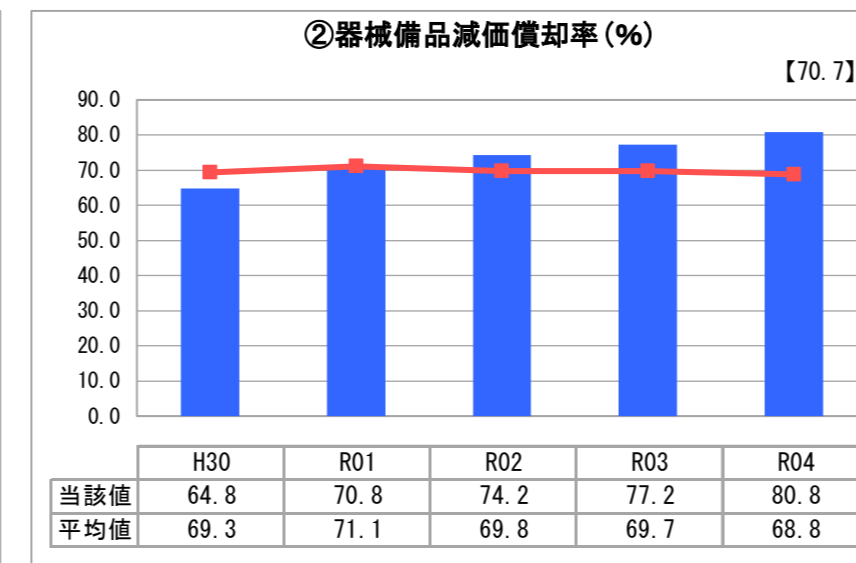
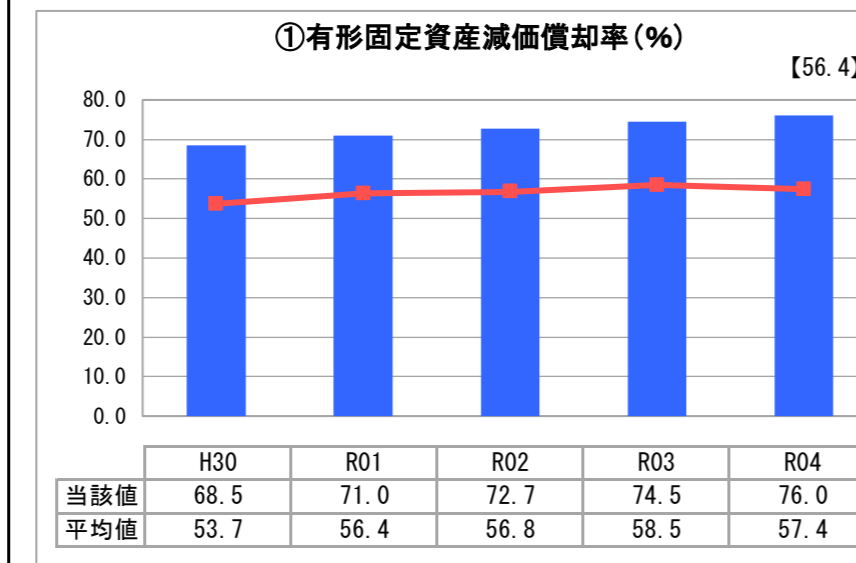
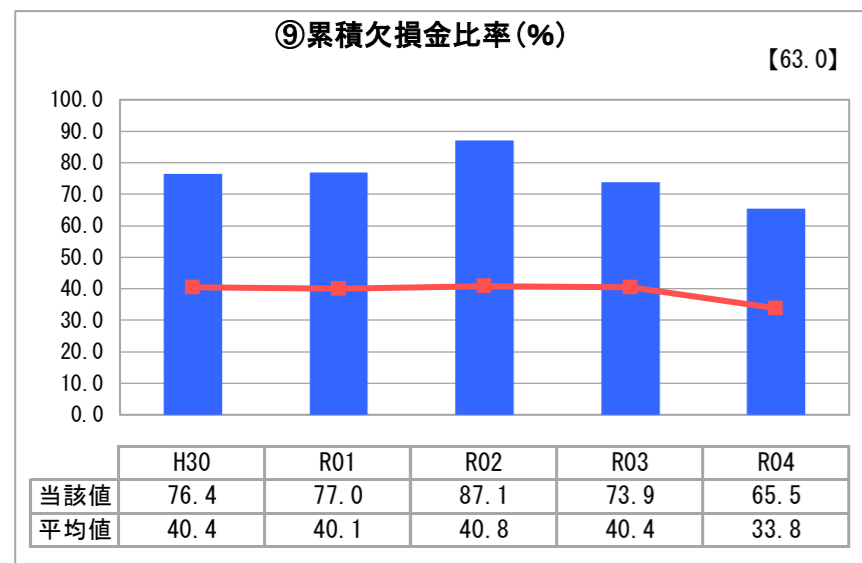
### 全体総括

本院は構想区域の基幹病院のひとつとして、長年にわたり地域の医療需要に応じてきており、令和4年度もこれまでと同様に期待に応えるため、良質な医療サービスの提供に努めました。経営成績では、入院・外来収益の増加に加えて新型コロナウイルス感染症対応として、病床確保事業補助金等も収入することができましたが、薬品費、材料費、光熱水費の増加により支出も増加し、病院経営は引き続き厳しい状況となっています。今後も地域の医療需要に応え、地域の皆様から信頼され、安心・安全な医療サービスを継続して提供できるよう、経営の健全性・安定性の向上や地域医療支援病院として、病病・病診連携を強化するため、積極的に紹介・逆紹介を進めてまいります。

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。